

# 中国圏広域地方計画中間評価

## 代表的な取組事例

令和4年2月  
中国圏広域地方計画協議会

# 中国圏広域地方計画の構成

## 『瀬戸内から日本海の多様な個性で対流し、世界に開かれ輝く中国圏』

中国圏は、瀬戸内海から日本海において、国際的にも強みを持つ産業や観光資源を有し、また中山間地域や島しょ部においても多様で個性的な文化が育まれてきた。さらに、アジアを見据え、九州圏と近畿圏や四国圏との結節点であることを活かし、社会・経済の多様な「対流」が促進されることにより新たな価値を創造するとともに、東アジアをはじめ世界とも繋がり成長しながら、人々が誇りと愛着を持って暮らせる圏域を目指す。

### 第1章 中国圏のポテンシャルと課題

#### 第1節 中国圏が有するポテンシャル

1. 地理的な優位性
2. 豊かな自然環境
3. 多様な文化と歴史
4. ものづくり産業の集積

#### 第2節 中国圏の課題

1. 著しい人口減少と高齢化の進展
2. 多数の小規模集落と過疎関係市町村
3. 圏域内の利便格差
4. 土砂災害・水害・地震等多発する大災害
5. 顕在化するインフラの老朽化

### 第2章 中国圏の将来像

- 第1節 国内外の多様な交流と連携により発展する中国圏
- 第2節 産業集積や地域資源を活かし持続的に成長する中国圏
- 第3節 豊かな暮らしで人を惹きつける中山間地域や島しょ部を創造する中国圏
- 第4節 新たなステージにも対応する安全・安心な中国圏
- 第5節 将来像において横断的に持つべき視点

### 第3章 中国圏の圏域整備の基本戦略とプロジェクト

#### 第1節 重層的なネットワーク形成と拠点都市の整備による対流促進型圏域づくり

1. 基幹交通の整備によるネットワーク強化
2. 都市間の多様な連携の推進
3. 拠点都市整備とコンパクトシティの推進及び中小都市の振興
4. 東アジアを始めとする国際交流の推進

#### 第2節 ものづくり産業の競争力強化、観光振興等経済の活性化

1. ものづくり産業のイノベーション等による競争力強化
2. 基幹産業の競争力強化に直結する国際物流機能の強化
3. 多様な連携によるインバウンド・広域観光の推進

#### 第3節 中山間地域・島しょ部における人口減対策等地域振興の推進

1. 地域資源を活かした産業の育成等による新たな雇用創出
2. 農林水産業の成長産業化と美しく活力ある農山漁村の創出
3. 空き家活用等多様な転入支援策
4. 「小さな拠点」の形成等による持続可能な生活サービスの確保

#### 第4節 土砂災害・水害対策やインフラ長寿命化等による強靱な圏域整備と安全・安心の推進

1. 他圏域のバックアップも含めた災害対策の推進
2. インフラ老朽化対策の推進
3. 安全で安心な住宅・社会資本の整備

#### 第5節 環境と産業・生活が調和した地域づくり

1. 低炭素・循環型の地域づくり
2. 瀬戸内海等の豊かな自然環境の保全・再生
3. 美しい景観の保全整備

#### 第6節 将来の発展を担う人材育成

1. 中国圏の人材育成
2. 若者・女性活躍社会、高齢者参画社会、障がい者参加社会の実現

### 第4章 他圏域と連携して取り組むべき施策

- 広域観光・インバウンド観光の促進
- 産業集積地間の連携等による国際競争力強化
- 暮らしの安全・安心と防災ネットワークの整備

- 豊かな瀬戸内海の環境保全と再生
- 課題を共有した人材育成、地域づくり等の推進

### 第5章 効果的、効率的な計画の推進

1. 投資の重点化・効率化と効果的な施策展開に向けた総合的なマネジメント
2. 関連計画との連携
3. 多様な主体の連携による計画の推進

## 【中国圏のポテンシャル】

### 1. 地理的な優位性

- ・本州西端に位置し、アジア大陸、朝鮮半島に近接。古くから東アジアとの深い関わり
- ・アジア大陸や朝鮮半島と京都・大阪を結ぶ回廊としての役割を担い、日本海及び瀬戸内海の水運並びに陸上交通の要衝
- ・これらから中国圏の特色ある歴史・文化、産業が発達

### 2. 豊かな自然環境

- ・日本海、瀬戸内海、中国山地の自然を有し、自然と人々の暮らしとが密接に結び付く
- ・山陰海岸、大山隠岐、瀬戸内海、中海、宍道湖、秋吉台地下水系、宮島など、世界的に認められる自然環境

### 3. 多様な文化と歴史

- ・出雲や吉備文化が栄えた歴史を持ち、わが国を代表する古代文化遺跡や社寺等が現存
- ・原爆ドーム、厳島神社、石見銀山遺跡、明治日本の産業革命遺産という4つの世界遺産

### 4. ものづくり産業の集積

- ・域内総生産に対する製造業の割合は中部圏に次いで高水準
- ・鉄鋼・化学等の基礎素材型産業の製造品出荷額等におけるシェアが54.7%
- ・従業員一人当たりの製造品出荷額等は、近年、中国圏が全国1位で推移
- ・オンリーワン・ナンバーワン企業が瀬戸内海地域を中心に数多く存在、日本海側地域にも電気・電子機械、食料品関係等の集積

## 【中国圏の課題】

### 1. 著しい人口減少と高齢化の進展

- ・全国に先行して1995年の777万人をピークに人口減少へ
- ・人口規模の小さい市町村ほど減少度合いが高く、中小都市や中山間地域等では、日常生活に必要なサービスを提供する都市機能の維持が困難

### 2. 多数の小規模集落と過疎関係市町村

- ・過疎関係市町村数は全市町村の74%を占め、北海道に次いで高い
- ・過疎地域における世帯数20世帯未満の小規模集落数は全国で最も高い
- ・小規模集落における人口減少の進展は、居住の孤立化や集落消滅に繋がることが危惧
- ・不動産管理の空洞化が進展。今後の人口減少により農地・森林等の一層の荒廃も懸念

### 3. 圏域内の利便格差

- ・中山間地域等には3次医療機関や2次医療機関に一定時間で到達できないエリアが存在
- ・中山間地域等は、道路改良率や下水道普及率が低く、高度情報通信基盤の整備も遅れ
- ・山陰道はネットワーク形成するまでに至っておらず、広域的な交流・連携に支障

### 4. 土砂災害・水害等多発する大災害

- ・土砂災害危険箇所は全国の18%。1km<sup>2</sup>当たりの土砂災害危険箇所数は全国で最も多い
- ・過去5年間の人口百万人当たりの水害による死者数は全国で最も多い

### 5. 顕在化するインフラの老朽化

- ・橋梁やトンネルにおいて、建設後50年以上を経過するものが急増
- ・多くの地方自治体においては、インフラ長寿命化のための技術、資金、人材が不足

## 中国圏の将来像

### ○国内外の多様な交流と連携により発展する中国圏

- ・基幹交通ネットワークを強化することで、対流促進型の圏域を実現
- ・中枢・中核となる都市の都市機能充実による推進力となる都市の実現
- ・中小都市は産業拠点、中山間地域を支える役割を發揮する都市の実現
- ・生活サービス機能維持、効率的な提供のためネットワーク型のコンパクトな街づくりを実現
- ・大都市圏への人口流出防止や人口・産業を呼び込む、連携中枢都市圏、定住自立圏等の実現
- ・文化・経済・観光交流や国際平和・医療支援、圏域の魅力等から国際交流促進を実現
- ・中枢・中核・中小の都市、小さな拠点のネットワークで都市機能享受を可能とし、海外も含め重層的な「コンパクト+ネットワーク」を構築することで、産業・文化・観光等のイノベーションや新しい価値を創造する中国圏を実現

### ○産業集積や地域資源を活かし持続的に成長する中国圏

- ・グローバル産業の国際競争力と国際物流機能の強化により、持続的に成長する中国圏を実現
- ・ICT活用や交通網の充実でローカル産業の生産性向上による圏域経済の底上げを実現
- ・クラスター形成や産学官連携等により、イノベーションが続く中国圏を実現
- ・観光地の魅力向上と広域的な観光周遊ルートを形成によりこれまでにない観光の体感を実現

### ○豊かな暮らしで人を惹きつける中山間地域や島しょ部を創造する中国圏

- ・地域資源を活用した新たな産業創出や食と豊かな空間を活かした交流産業等により雇用創出
- ・高付加価値化、地産地消、6次産業化等により循環型の農林水産業を営む圏域を実現
- ・生活サービス機能の確保・維持のため、地域の合意に基づき、「小さな拠点」を実現
- ・中小都市の機能を高め、小さな拠点をサポートし、生き活きとした中山間地域等を実現
- ・ICTと物流機能の強化で、中山間地域等の魅力を引き立て、移住・定住促進を実現
- ・人と人が支え合う良好なコミュニティにより地域が活性化する圏域を実現
- ・地域資源を活かし「里山・里海ニューライフ」とも呼べるような豊かなライフスタイルを育む中山間地域を目指し、こうした魅力で大都市圏も含め暮らしの豊かさを求める人々を惹きつけ新しい価値を創造する中国圏を実現

### ○新たなステージにも対応する安全・安心な中国圏

- ・風水害対策、自助・共助による対応等により、高い地域防災力を備えた圏域を実現
- ・強靱な交通・物流機能、有事に強いサプライチェーンの形成により大震災時にも復興を促進
- ・大都市圏や近隣圏域のバックアップも含めた安全・安心な圏域を実現
- ・社会資本の長寿命化、ライフサイクルコストの低減、費用の縮減・平準化を図る圏域を実現
- ・密集市街地の防災対策、交通安全対策、バリアフリー化等により、安全性の高い圏域を実現
- ・異常気象時や大規模地震発生時等の新たなステージにも対応した防災・減災も含め安全・安心な中国圏を実現

### 【将来像において横断的に持つべき視点】

- 環境と産業・生活の調和
- 人材育成
- ・低炭素や循環型の地域づくり
- ・地元大学と連携した産業振興や地域づくりの担い手育成
- ・豊かな自然環境の保全、再生
- ・若者・女性活躍社会、高齢者や障がい者参画社会の実現
- ・美しい景観の保全整備

# 基本戦略1 重層的なネットワーク形成と拠点都市の整備による対流促進型圏域づくり

## 戦略の考え方

- 近接圏域やアジアをはじめとする世界との交流や圏域内の交流が重層的に行われるための多様なモードによる基幹交通のネットワーク強化
- 高次な都市機能の維持・向上や産業活性化のための、「連携中枢都市圏」や「定住自立圏」等の多様な連携強化
- 圏域の推進力強化のための中枢都市等の整備と、持続的な生活サービス機能確保のための「コンパクト+ネットワーク」の推進
- 東アジア等世界との交流・連携を促進するため、中国圏の特色を活かした国際交流の推進と国際交流機能の維持・強化

## プロジェクト

### ■ 基幹交通の整備によるネットワーク強化

- ・日本海側のミッシングリンクの解消を図る高規格幹線道路等の整備を推進
- ・山陰等におけるフリーゲージトレイン導入に係る地方公共団体による調査・検討の実施、その他の幹線鉄道の高速化に関する調査・検討の推進
- ・安定した住民生活や圏域間交通の利便性確保のための国内航路の維持・拡充及び港湾機能及びアクセスの強化 等

### ■ 都市間の多様な連携の推進

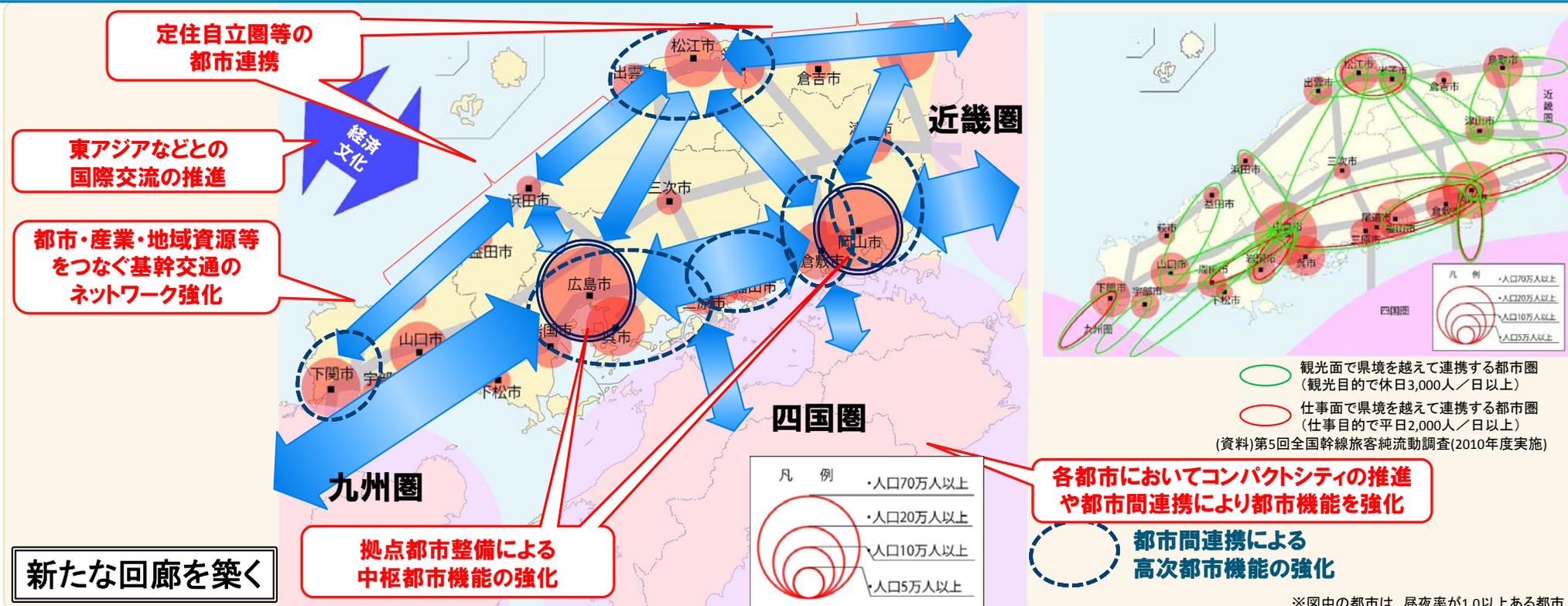
- ・連携中枢都市圏を形成し、産業活性化と高次都市機能の集積・強化を推進
- ・定住自立圏等の都市連携や圏域間の連携を強化
- ・多様な都市間連携を支える道路ネットワーク整備、公共交通ネットワーク機能の強化 等

### ■ 拠点都市整備とコンパクトシティの推進及び中小都市の振興

- ・都市機能の高度利用を可能とする市街地再開発等の推進
- ・交通結節点の機能強化、都市高速道路や環状道路の整備等による交通ネットワークを強化
- ・立地適正化計画等に基づくネットワーク型のコンパクトシティの形成
- ・中小都市における中心市街地活性化等による拠点機能の維持・強化 等

### ■ 東アジアを始めとする国際交流の推進

- ・日本海地域における定期貨客航路を活かした北東アジア地域との交流推進
- ・国際フェリー航路を有する下関港・境港における国際航路の維持・拡充や港湾機能を強化
- ・クルーズ船寄港が増加する境港、広島港等における貨客船ターミナルの整備等国際交通機能を強化 等



# 基本戦略1 重層的なネットワーク形成と拠点都市の整備による対流促進型圏域づくり

## 基幹交通の整備によるネットワーク強化

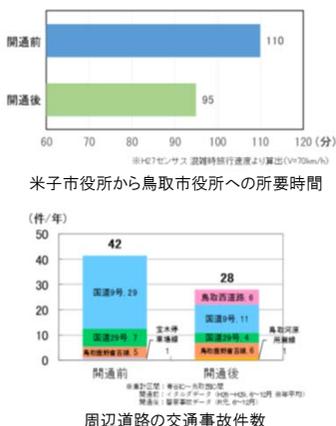
山陽側の交流の強みを活かすとともに山陰の地域資源の魅力を発揮することで、圏域内外の対流を促進し、持続的に発展するための基盤となる山陰道のミッシングリンク解消など、基幹交通の整備によるネットワークを強化。

### 〈山陰自動車道の整備〉

鳥取・島根・山口3県の主要都市を東西に結び、移動時間の短縮や、空港・港湾へのアクセスの強化を図ることにより、各地域間の交流・連携の強化及び推進、山陰地方の産業・経済の発展や観光振興を目的として整備を推進中。



▲山陰自動車道の事業進捗状況



▲鳥取西道路の整備効果  
(資料)国土交通省中国地方整備局

### 〈美作岡山道路の整備〉

美作岡山道路は、中国縦貫自動車道、山陽自動車道、中国横断自動車道岡山米子線と一体となって広域交通網を形成する地域高規格道路であり、美作圏域と岡山圏域の交流促進や沿線地域の活性化を図るため、自動車専用道路として岡山県と岡山市で整備を推進中。



▲美作岡山道路の事業進捗状況

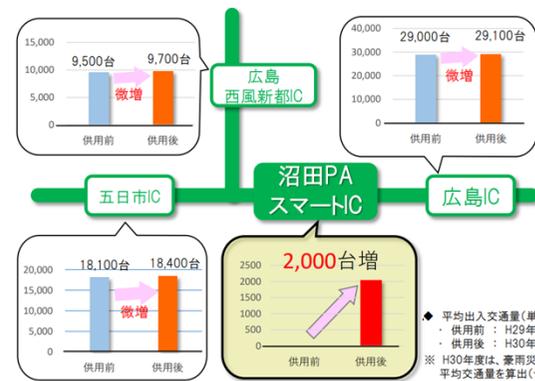
#### 《整備効果》

- 中国縦貫自動車道や山陽自動車道へのアクセスが向上し、物流の効率化による沿線への新たな企業立地や観光振興を支援。
- 美作圏域や岡山圏域への通勤や通学をはじめとする生活圏域の拡大や交流人口の増加による地域活性化に寄与。
- 既存の高速道路と一体となった県内の環状高速道路網の形成により、大規模災害時のネットワークの代替性を確保し、円滑な救援活動や物資輸送に寄与等

(資料)岡山県

### 〈沼田PAスマートインターチェンジ〉

高速道路ネットワークを活用し、観光やビジネスなど多様な目的を持った人々を、広域から「ひろしま西風新都」に誘引する力を高めるとともに、高速道路へのアクセス時間の短縮による地域住民の利便性の向上や地域経済の活性化等を図るため、山陽自動車道の沼田パーキングエリアにおいて、西日本高速道路株式会社と広島市が共同でスマートインターチェンジを整備(平成30年3月)。



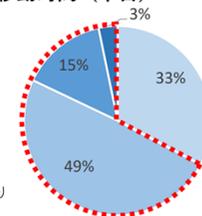
▲高速道路の利用促進に寄与する整備効果



▲沼田PAスマートインターチェンジ

スマートIC整備前と比較して短縮した移動時間(平日)

- 約10分未満
- 約20分
- 約30分
- 約40分以上



H30年アンケート調査より(有効回答数:367票)

- 平均出入交通量(単位:台/日)
- 供用前: H29年度
- 供用後: H30年度
- H30年度は、豪雨災害による通止めの期間があるため、7月を除いて平均交通量を算出(データ提供元:NEXCO西日本)
- ※ 端数処理の都合上、各ICの出入交通量と合計の出入交通量は一致しない

(資料)広島市

### 〈広島呉道路(クエアライン)の暫定2車線区間の4車線化〉

広島呉道路(クエアライン)は、平成30年7月豪雨により、大規模な盛土崩落が発生し、広島呉道路、国道31号、JR呉線が同時に被災したことから、長期間にわたり道路ネットワークが寸断され住民生活や地元産業に多大な影響を及ぼすことになった。このような背景から、防災・減災、国土強靱化のための緊急対策として、平成31年3月に広島呉道路の4車線化を事業化。



▲期待される整備効果  
(災害発生時における代替機能の強化)



▲4車線化事業の概要

(資料)NEXCO西日本・呉市

# 基本戦略1 重層的なネットワーク形成と拠点都市の整備による対流促進型圏域づくり

## 都市間の多様な連携

三大都市への人口流出を防止するダムの役割を担うため、通勤や経済活動等の上で一定のまとまりのある圏域について、産業、教育、医療・福祉等に関する都市機能の共有・高度利用等を推進するとともに、多様な連携を推進。

### 〈広島広域都市圏発展ビジョンの策定〉

人口減少・少子高齢化に伴う経済活動の停滞や市民生活への悪影響に歯止めを掛け、圏域全体を自律的かつ継続的に発展していくため「200万人広島都市圏構想」の実現に向けて様々な施策を展開した。また、「広島広域都市圏発展ビジョン」の計画期間が令和2年度で満了したことから、令和3年3月に「第2期広島広域都市圏発展ビジョン」を策定した。



▲広島広域都市圏



24時間365日体制で電話による救急医療相談を受け付ける救急相談センター広島広域都市圏の運営



体験型観光プログラムの利用促進

(資料)広島市HP

### 〈中海・宍道湖・大山圏域市長会による取組〉

中海・宍道湖・大山圏域市長会（米子市・境港市・松江市・出雲市・安来市・大山圏域7町村）では、圏域が一体的に発展していくための共通の指針として、中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョンを策定し、都市間の多様な連携に向けた取組を推進中。令和2年3月には、人口減少と地域経済縮小の克服を図るとともに、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を成し遂げるため、第2期地方版総合戦略を策定。



▲第2期 中海・宍道湖・大山圏域市長会 地方版総合戦略

(資料)中海・宍道湖・大山圏域市長会

### 《主な取組》

- ・インドとの経済交流事業（インターシップ圏域受入企業によるオンライン企業説明及び個別面談の実施：10社）
- ・経済交流事業（ビジネスマッチングオンライン商談会：商談件数318件。台湾での圏域特産品の販売）
- ・圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング
- ・山陰いいものマルシェプロジェクト（計24事業者が参加）
- ・圏域インバウンドプロモーション 等

## 東アジアを始めとする多様な国際交流の推進

成長著しい東アジアの活力を取り込むとともに、世界の中での中国圏の役割を高めていくために、多様な国際交流等を推進するとともに、空港・港湾機能強化やネットワークの強化等の国際交通機能を充実・強化。

### 〈境港を介した圏域全体の活性化〉

国際フェリーの就航や大型クルーズ船の寄港増加などを背景として、国内外からの人・モノの流れが活発化しており、より一層の交流拡大と地域経済の発展が期待される中、外港竹内南地区の旅客ターミナルの整備、国内RORO船の定期便化に向けた取組を推進中。



▲境夢みなとターミナル(令和2年4月オープン)寄港第一船となる飛鳥II(クルーズ船)の寄港記念イベントの開催

(資料)境港管理組合HP・鳥取県

### ■境港利用促進助成事業

- 【取組内容】  
境港発着の国際定期航路を利用した荷主企業に対して助成を行う。
- ・境港新規利用荷主への助成
  - ・境港利用拡大（貨物増加）荷主への助成
  - ・境港小口混載貨物輸送サービス利用荷主への助成
  - ・環日本海圏航路利用による貨物輸送荷主への助成

【成果・効果】  
当該助成制度は境港利用増加へ一定の効果を発揮しており、境港のコンテナ貨物取扱量(実入り)は、平成29年に過去最高(26,497TEU)を記録。令和2年は、コロナ禍の影響があり、21,934TEUであった。

### 〈広島空港拠点性強化事業〉

航空ネットワークの拡充や航空機利用の利便性向上を図り、中四国地方の拠点空港としての競争力・拠点性を高めるため、航空会社等に対し、路線拡充に向けた取組を実施した（平成29年度 シンガポール線就航、令和元年度 バンコク線就航）。国土交通省では、広島国際空港株式会社に対して、国が土地等の所有権を留保しつつ民間に運営権を設定する「公共施設等運営権実施契約」を締結し、広島空港の運営を民間委託した（令和3年7月）。



2050年度目標値

旅客数	586万人	総合満足度	8.0
貨物量	26.2千t	NPSスコア	20.0
路線数/便数	国内線：8路線/2.4万便 国際線：22路線/1.6万便	搭乗手続きに係る時間	国内線出発10分以内
航空系収入	19億円		
非航空系収入	132億円		

▲広島空港特定運営事業等マスタープラン(令和2年7月策定)

(資料)広島国際空港株式会社HP



▲国際線乗降客数(広島空港)

(資料)空港管理状況調査(国土交通省)

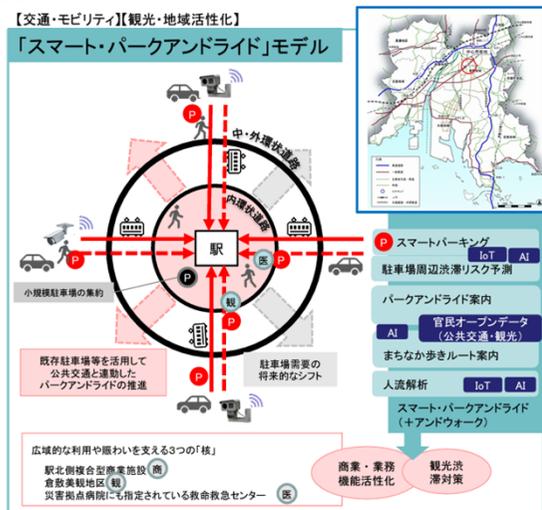
# 基本戦略1 重層的なネットワーク形成と拠点都市の整備による対流促進型圏域づくり

## 拠点都市整備とコンパクトシティの推進及び中小都市の振興

圏域の推進力を強化するため、拠点都市における市街地再開発や都市交通の機能向上等による高次都市機能の強化を推進。

### 〈スマートシティプロジェクトの実施:岡山県倉敷市〉

スマートシティ重点事業化促進プロジェクトに選定された岡山県倉敷市では、駐車場や交通のリアルタイムデータを収集、AIで分析するとともに、公共交通と連携することで、状況に応じた案内を行うとともに、まちなか歩きを誘導する「スマート・パークアンドライド」の実現に取り組んでいる。

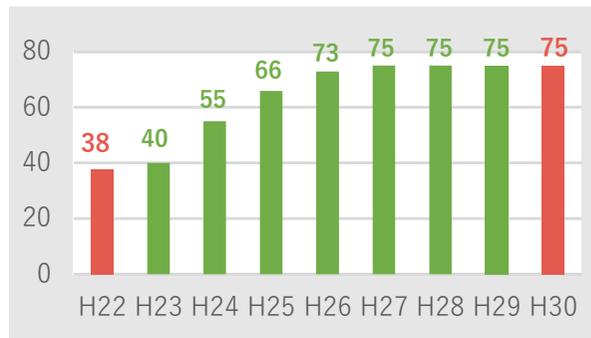


(資料)国土交通省

▲倉敷市中心市街地活性化協議会/倉敷駅周辺地区スマートシティ検討ワーキンググループの取組

### 〈まちづくりと連携した神門通りの整備〉

出雲大社の門前にふさわしい風格とにぎわいのある通りへの再生のため、県・出雲市・地元が一体となった取組を推進中。沿道では空き店舗が目立っていたが、店舗の新規出店が進み、店舗数が飛躍的に増加し賑わいが形成されてきている。



▲神門通りの沿道店舗数



▲神門通り

(資料)島根県

### 〈広島駅南口広場の再整備等〉

広島駅南口広場の再整備等においては、JR西日本が実施している現広場の自社所有部分上空の立体利用を前提とした駅ビルの建替え(令和7年春開業予定)と連携し、路面電車を新駅ビルの2階レベルへ高架で進入させることで生まれる空間や新駅ビル1階などを活用して、広場を約1.4倍に拡張することにより、駅周辺に点在するバスの乗降場を集約するなどの再整備を推進中。



▲広島駅南口広場将来イメージ図



(資料)広島市HP

### 〈呉駅交通ターミナル整備事業〉

国土交通省と呉市は、呉駅周辺の交通結節機能を強化する新たな交通ターミナルの計画の具体化に向けて、令和2年9月に「国道31号等呉駅交通ターミナル整備事業計画検討会」を設置し、賑わいのネットワークの起点やまちなか居住の拠点となる呉駅交通ターミナルの事業計画を策定。今後、官民連携により、道・港・駅・まちが一体となる次世代型総合交通拠点の実現に向けた取組を推進する。



▲呉市交通ターミナル将来イメージ図

(資料)呉市HP

# 基本戦略2 ものづくり産業の競争力強化、観光振興等経済の活性化

## 戦略の考え方

- グローバル産業の高付加価値化・効率化による国際競争力の強化とローカル産業の新規創業、クラスター形成等による産業競争力の強化
- 世界水準の国際物流機能の確立を目指した産業港湾の機能強化とシームレスで競争力ある貨物輸送サービス提供の推進
- 中国圏の自然や歴史・文化資源を活かした多様な連携によるインバウンド・広域観光の推進

## プロジェクト

### ■ ものづくり産業のイノベーション等による競争力強化

- ・ 先進環境対応車の技術開発等による自動車関連産業の国際競争力を強化
- ・ 瀬戸内海沿岸に集積するコンビナート企業間の連携促進等により国際競争力を強化
- ・ 高付加価値型の電子部品・デバイスの開発生産拠点の形成
- ・ 航空機部品加工等の研究開発・事業化の促進等による航空機産業拠点を構築
- ・ 瀬戸内海沿岸に集積するコンビナートの副生水素の利活用による産業振興 等

### ■ 基幹産業の競争力強化に直結する国際物流機能の強化

- ・ 国際バルク戦略港湾を整備し効率的な海上輸送網を形成
- ・ 下関港、境港の国際物流ターミナル整備や日本海側の港湾物流機能の強化
- ・ 国際コンテナ航路、国際フィーダー航路、国際フェリー・RORO船等の国際物流ネットワークの充実 等

### ■ 多様な連携によるインバウンド・広域観光の推進

- ・ 世界遺産や世界ジオパーク等を活かした国際レベルの観光地の形成
- ・ スポーツツーリズム、産業観光、インフラツーリズム等の推進
- ・ 「せとうち・海の道」広域観光周遊ルートや山陰における広域観光ルートの形成
- ・ 明治日本の産業革命遺産等の世界遺産、中国やまなみ街道等を活用した多様な観光周遊ルートの形成
- ・ 官民の関係者が一体となった外国人旅行者の誘引に向けたクルーズ客船の誘致と受入環境の改善
- ・ DISCOVER WEST 連携協議会の取組など中国圏一体の情報発信・プロモーション等の推進 等

	主として域外需要	主として域内需要
主として ものづくり	<p>技術開発、販路開拓等による国際競争力強化</p> <p>コンビナート 先進環境対応車 電子部品・デバイス 航空機産業 等</p>  	<p>クラスター形成、産学官連携やICT活用による高付加価値化、生産性向上等による活性化</p> <p>医療関連産業 エネルギー関連産業 副生水素活用 等</p> 
主として サービス	<p>瀬戸内海・世界遺産などの拠点観光資源</p>  	<p>産業支援サービス 生活関連サービス 等</p> <p>各地の歴史・文化・自然資源</p> <p>体験型観光地、多様なツーリズムの創出</p> 

# 基本戦略2 ものづくり産業の競争力強化、観光振興等経済の活性化

## ものづくり産業のイノベーション等による競争力強化

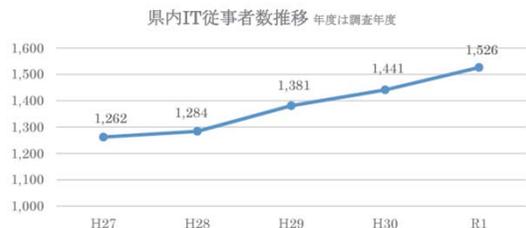
中国圏における経済の持続的な成長を推進するため、グローバル産業の国際競争力の強化や、ローカル産業の高付加価値化、企業誘致を支えるインフラの整備等を推進し、圏域内の産業の競争力を強化。

### 〈しまね発Rubyを軸とした産官学民の連携〉

島根県では、Ruby（オープンソース）の開発者である「まつもとゆきひろ氏」が在住しているということにより「高度技術人材の育成」や「全国の優秀な技術者の集積」を実現可能な環境がある。島根県ではRubyを地域の強みと捉え、産官学民が一体となった活動を進めている。プロジェクト開始から15年間で約40社の企業が松江市にオフィスを開設。



▲オープンソースソフトウェア(OSS)に特化した、研究・開発・交流のための拠点「松江オープンソースラボ」を設置



▲島根県内のIT従事者数の推移

(資料)一般社団法人 島根県情報産業協会

### 《主な取組》

- ・島根県や松江市などの行政機関の支援だけでなく、県外の開発案件についてRubyを軸とした企業連携
- ・Rubyプログラマによる自主的な定期勉強会を開催 等

(資料)島根県HP

## 基幹産業の競争力強化に直結する国際物流機能の強化

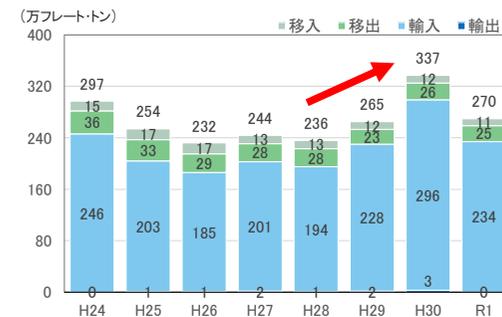
世界水準の国際物流機能の確立を目指して、産業港湾の機能強化や国内外への円滑な貨物輸送を実現するシームレスで競争力あるサービスの提供を推進。

### 〈水島港の整備促進〉

東南アジア向けのコンテナ貨物取扱量の増大と船舶の大型化に対応するため、水島東航路の水深12m化に向けた整備を促進している。また、国際バルク戦略港湾（穀物、鉄鉱石）の選定を受け、穀物の安定かつ安価な輸入を実現するため、国際物流ターミナルの整備を促進しており、既に穀物関連企業の立地件数が増加し、取扱量も増加している。



▲水島港



▲穀物取扱量の推移(水島港)

(資料)中国地方整備局

### 〈岡山県におけるEVシフトへの対応〉

岡山県では、全国に先駆けてEVシフトに対応した産業と地域の実現を目指して、「岡山県におけるEVシフトへの対応方針」を策定し、平成30年度から概ね5年間を目途に、産官学民の連携によって取組を集中的に実施している。岡山県自動車関連企業ネットワーク会議と連携し、メーカー等のニーズや次世代技術に関する情報の収集提供を行うとともに、共同研究の推進や、展示会出展等により、企業の開発力・提案力の向上を支援。

### 岡山県におけるEVシフトへの対応方針

～全国に先駆けてEVシフトに対応した産業と地域の実現を目指して～

#### 基本方針

- ・EVシフトの進展は、温室効果ガスの削減に寄与
- ・全国有数のEV生産拠点と本県の基幹産業である自動車産業を支える県内サプライヤーのEVシフトへの対応を支援することは喫緊の課題
- ・EVシフトによって成長が見込まれるEV関連分野の企業誘致と投資促進等を図ることで、EVシフトを本県経済の活性化につなげることが可能
- ・EVとPHVの普及を見据え、これらを安心して利用できる環境の整備等が必要

2018(H30)年度から概ね5年間を目途に、産学官の連携による取組を集中的に実施することで、全国に先駆けてEVシフトに対応した産業と地域の実現を目指す。

- 2022年度までに県内サプライヤーのEVシフトへの円滑な対応を実現
- 2021年度までに利用者のニーズに応じたところへ急速充電設備及び普通充電設備の設備促進、EV等の魅力発信などによる普及促進

### 《主な取組》

- ・ネットワーク会議と連携した各種セミナーの開催
- ・全国的な展示会への出展支援
- ・ハンズオン支援（専門家派遣）
- ・自動車関連企業における工場管理等を担う人材を育成するための研修等の開催

▲岡山県におけるEVシフトへの対応方針

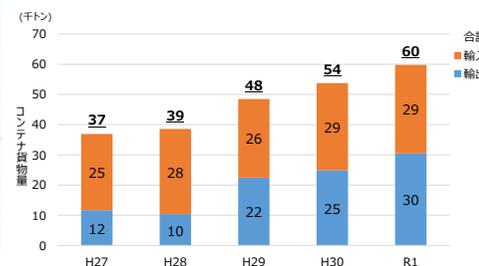
(資料)岡山県

### 〈浜田港の整備促進〉

浜田港では、輸入の石炭、原木、移入のセメントなどのバルク貨物のほか、コンテナ貨物も取り扱っている。令和元年にはコンテナ定期航路の週2便化とガントリークレーンが設置されたことにより、過去最高の取扱量60千トン記録した。



▲浜田港の概要



▲浜田港外貿コンテナ取扱貨物量の推移

(資料)中国地方整備局

## 多様な連携によるインバウンド・広域観光の推進

外国人旅行者等の積極的な誘客を図るため、山陰・山陽の多様かつ個性的で魅力ある資源を活かし、多様な連携によるインバウンド・広域観光を推進。このため、プロモーションによる需要創出やサービス開発を担う観光地域づくり法人（DMO）を推進。

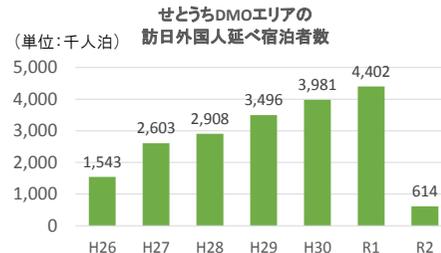
### 〈せとうちDMOの取組〉

せとうちDMO（（一社）せとうち観光推進機構・（株）瀬戸内ブランドコーポレーション）と連携し、瀬戸内を体感できる観光関連サービスの充実や地域産品等のプロダクト開発の促進、国内外プロモーションの強化を図る。また、せとうちDMOの基本戦略として、インターネットを活用したデジタルマーケティング、現地エージェンシーを活用したプロモーション、欧米豪向けのプロダクト開発、受入環境整備等を実施中。



▲瀬戸内の観光情報を発信するとともに宿泊施設や体験アクティビティの予約機能を有する海外向けのサイト

（資料）せとうちDMO



▲せとうちDMOエリアの訪日外国人延べ宿泊者数  
（資料）宿泊旅行統計調査(国土交通省)

### 〈都市間高速バスを活用した鳥取・島根・広島への広域周遊観光促進事業〉

中国地方への訪日外国人旅行者は、関西方面から広島市周辺への日帰り観光が多く、旅行消費額の増加に繋がっていなかった。そのため、広島に集中する訪日外国人旅行者の周遊観光促進を図るため、都市間高速バスを活用した広域周遊観光モデルコース等を掲載した特設サイト、PR動画を制作し、Web広告等にて情報発信を行うことで、認知度向上と来訪意欲促進に繋げた。



（資料）中国運輸局

▲PR動画・Web広告による情報発信

### 〈しまなみ海道サイクリングロードのブランド力向上及び利便性向上策の実施〉

自転車走行環境の更なる向上に向けた取組（自転車レーン等の維持・管理、ピクトサインの統一等）、しまなみ海道自転車通行料無料化の継続に向けた取組を推進中。令和元年11月にナショナルサイクルルートに指定（現在は全国で6ルート指定）。

（資料）広島県HP



▲しまなみ海道サイクリングロード

### 〈大山隠岐国立公園満喫プロジェクトの推進〉

大山隠岐国立公園の魅力を高め、新型コロナウイルス感染症の影響で激減した国内外からの利用者を回復させることを目指し、令和3年2月に大山隠岐国立公園満喫プロジェクト地域協議会において「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2025」を策定。

#### 《主な取組》

- ・アクセスルート環境改善
- ・多様なサービス提供のための民間活用
- ・まちなみ等の景観改善
- ・インバウンド対応のための施設整備等
- ・国立公園への誘客・プロモーション



（資料）島根県HP

▲大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2025

### 〈外国人観光客の受入環境の充実〉

広島県廿日市市宮島地域における、訪日外国人旅行者の利便性や満足度向上に向けた受入環境整備として、公衆トイレ6箇所の洋式化や多言語による指導標（観光地までの経路案内、観光スポット情報等のQRコード付き）38か所の整備を実施。



▲公衆トイレの洋式化・多言語による指導標

（資料）中国運輸局

### 〈コンテンツ造成事業〉

出雲・大山エリアの地域資源を生かすため、地域に根付く、工芸や酒造り文化を組み合わせることにより、ものづくり文化と地域に暮らす人々の営みを知ることができる滞在型コンテンツを造成した。



▲地域資源を活かした滞在型コンテンツ

（資料）中国運輸局

# 基本戦略3 中山間地域・島しょ部における人口減対策等地域振興の推進

## 戦略の考え方

- 地域資源を活かした産業の育成や新規創業等による地域の産業力強化と雇用の確保
- 生産基盤の整備や担い手の確保、6次産業化による高付加価値化、里山・里海の資源を活かした特産品の開発等による農林水産業の強化
- 中山間地域等と中小都市との交流促進及び空き家活用など多様な転入支援策による移住先進地となる取組の推進
- 中山間地域等における官民連携による「小さな拠点」の形成
- 面的な公共交通の再構築や拠点間をつなぐ道路の整備等、地域の実情に応じた持続可能な生活の確保に資するネットワークの構築

## プロジェクト

- 地域資源を活かした産業の育成等による新たな雇用創出
  - ・ 新たなニーズに応じた製品開発や新規事業への参入促進
  - ・ 共同アンテナショップ等における販売促進や商談会の開催、海外展開の促進
  - ・ 農山漁村環境と農林漁業体験を活かしたグリーンツーリズム・ブルーツーリズムの推進 等
- 「小さな拠点」の形成等による持続可能な生活サービスの確保
  - ・ 道の駅等を核とした、生活サービス機能や地域情報を提供し、地域の賑わいを創出する拠点の形成
  - ・ 官民連携による、地域内での生活サービスの確保等の仕組みを構築
  - ・ 「小さな拠点」と周辺集落との公共交通や物流ネットワークの確保
  - ・ 「小さな拠点」と周辺をつなぐ道路等の社会インフラの整備や適正な維持・管理 等
- 農林水産業の成長産業化と美しく活力ある農山漁村の創出
  - ・ 直売所等の環境整備、地元産食材を使った飲食店の認定等による地産地消の取組、販路拡大を推進
  - ・ 体験機会の提供や就農支援対策などによる担い手の確保・育成・定着
  - ・ 間伐材等を発電所や熱利用施設等へ積極的に利用する資源循環型産業の振興
  - ・ 中山間地域等直接支払制度による農業生産活動の継続を通じた食料供給機能や多面的機能の維持向上 等
- 空き家活用等多様な転入支援策
  - ・ 空き家バンク等空き家の活用施策を促進
  - ・ お試し住宅や定住住宅の建設・提供等多様な居住機能を確保 等



# 基本戦略3 中山間地域・島しょ部における人口減対策等地域振興の推進

## 地域資源を活かした産業の育成等による新たな雇用創出

中山間地域等における産業の振興を図るため、地域資源を活かした商品開発やブランド形成等により地場産業を育成し、新たな雇用を創出。

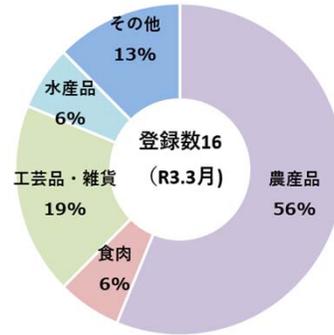
### 〈地域資源の効果的なブランド形成：広島レモン〉

広島県立総合技術研究所では「広島レモン」の省力栽培・周年供給・食品加工に関する技術開発、開発技術の移転や生産現場の課題解決に取り組んでいる。近年、安定的な出荷が可能となり、お土産品のみならず、加工品、スナック菓子や清涼飲料水などにも採用され、全国で販売中。



▲商標登録された「広島レモン」

(資料)広島県HP



▲地域団体商標数の内訳 (広島県)

### 〈鳥取県・岡山県共同アンテナショップの設置〉

鳥取・岡山両県が共同でアンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」を設置し、両県の特産品や工芸品等の展示・販売や旬の食材を使用した飲食の提供、観光・移住情報の提供・発信、コワーキングスペースの運営等を実施中。



▲とっとり・おかやま新橋館

(資料)鳥取県・岡山県HP

### 〈地域商社やまぐち株式会社の取組〉

平成27年に山口県と山口銀行との間で生まれた構想から誕生、魅力ある県産品を厳選し、まとめて首都圏をはじめとした地域内外へ売り込んでいくための地域商社。地域商社やまぐちは民間出資100%であり、常に生産者支援を意識した商品開発、販路開拓を行なっている。



▲地域商社やまぐち株式会社

#### 《主な取組》

- ・中小企業では難しいマーケティング
- ・大手商社が参入しない少量多品種の商品開発や販路開拓
- ・中小事業者ではなかなか営業に手が回らない既存商品の売り込み

## 農林水産業の成長産業化と美しく活力ある農山漁村の創出

中山間地域等における地域環境の持続性確保や基幹産業の維持を図るため、森林資源の高度利用や域内調達・循環の促進による所得創出などを推進。

### 〈6次産業化の取組：有限会社ひよこカンパニー〉

鳥取県八頭町に所在する有限会社ひよこカンパニーでは、農業と地域、人をつなぐテーマパーク「大江ノ郷ヴィレッジ」等を展開し、平飼いで生産した卵や加工品のスイーツを直営のカフェやスイーツ店、通信販売で提供、農家レストランでは地産地消メニューを提供している。農林水産省ではこのような6次産業化の取組を推進。

- 雇用者数 (パート含む) 30名 (H23) →185名 (R1)
- 飼育羽数 (採卵鶏) 2.7万羽 (H23) →4.6万羽 (R1)
- 来客者数 5万人 (H23) →39万人 (R1)



平飼鶏卵「天美卵」



ココガーデン



大江ノ郷ヴィレッジ

直売所兼牧場スイーツ専門店のカフェ「ココガーデン」、食と農を楽しむ複合型施設「大江ノ郷ヴィレッジ」、オーガニック食材専門店「RITOTTO MARCHÉ リトット マルシェ」、卵かけご飯専門店「大江ノ郷自然牧場HANARE」、廃校をリノベーションした農泊施設「OOE VALLEY STAY」の運営により集客力のアップを実現

▲有限会社ひよこカンパニーの取組

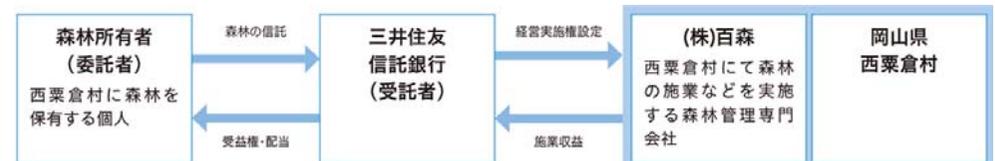
(資料)中国四国農政局

### 〈百年の森林(もり)構想による取組：岡山県西粟倉村〉

岡山県西粟倉村は、2009年より百年の森林構想によって森林整備を進めてきた。これまで、村が所有者から森林を預かり、間伐や作業道整備などを行う体制を構築してきたが、都市部に居住しつつ西粟倉村に森林を所有する「村外地主」の存在や、所有者不明森林の発生などに対応し、施業地の集約化や施業の効率化を進めるため、新たに「森林信託」の取組を推進中。



▲岡山県西粟倉村百森2.0



▲森林信託のスキーム(三井住友トラスト・ホールディングス)

# 基本戦略3 中山間地域・島しょ部における人口減対策等地域振興の推進

## 空き家活用等多様な転入支援策

小規模集落の維持を目指すとともに、地域の防災・防犯や景観の維持を図るため、空き家を活用した多様な居住機能や受け入れ体制の整備等の転入支援策を推進。

### 〈岡山移住・定住促進パワーアップ事業〉

東京・大阪・名古屋で総合的な相談会を開催するなど、晴れの国おかやまでの暮らしの魅力を積極的にPRするとともに、地域一体となった受入体制の拡大・普及を図ること等により、岡山県への移住を強力に促進中。



- 《主な取組》
- ・相談窓口の充実（岡山移住推進員、晴れの国ぐらし！JUアドバイザー、アンテナショップ「移住・しごと相談コーナー」の設置等）
  - ・情報発信の強化（移住ポータルサイトや移住・定住ガイドブック等を活用した魅力発信）
  - ・移住候補地体感ツアーの実施（複数の市町村を巡るバスツアー）

▲移住定住イベントの開催

（資料）岡山県HP

### 〈空き家活用検討事業〉

空き家を地域の有用な資産として積極的活用を図るため、空き家バンクHPによる情報発信や専門家による実践的なアドバイスなどにより、市町の実験を支援するとともに、移住希望者とのマッチングを促進中。



▲ひろしま空き家バンク みんなと

（資料）広島県HP

## 「小さな拠点」の形成等による持続可能な生活サービスの確保

中山間地域等における買い物・医療など生活に不可欠なサービスの機能の維持を図るため、小さな拠点の形成を図り、地域住民等が参加する組織により運営。また、中山間地域等における生活に必要な移動手段等の維持・確保を図るため、地域の実情に応じた、持続可能な公共交通や物流・ICTネットワークの構築を推進。

### 〈小さな拠点等の形成：岡山県津山市阿波地区〉

岡山県津山市阿波地区では、「あば村運営協議会」が複数の実行組織と連携して、地域住民の生活を支える施設群（商店・ガソリンスタンド、農産物加工施設、温泉・交流館）を運営するとともに、地域住民の移動手段の確保のための公共交通空白地有償運送事業を実施中。

<p><b>商店・ガソリンスタンドの運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「合同会社あば村」が、日用品等を販売する商店とガソリンスタンドを運営。商店は、住民が野菜等を委託販売できるとともに、交流の場としても機能。</li> <li>○移動販売による買い物支援も実施。</li> </ul>	<p><b>あば温泉・交流館の運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「公益財団法人津山市都市整備公社」が、市から指定管理業務を受託して、温泉施設と食堂を併設した宿泊施設（あば温泉・交流館）を運営。</li> </ul>
<p><b>農産物加工施設の運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○津山市が旧小学校を改修した農産物加工施設を、「一般財団法人あばグリーン公社」が運営。</li> <li>○地域の加工グループが農産物加工品を製造・販売。</li> </ul>	<p><b>公共交通空白地有償運送の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「NPO法人エコレレッジあば」が、H24に福祉有償運送から切り替え公共交通空白地有償運送を実施。 ・月に約100人が利用</li> </ul>

▲岡山県津山市阿波地区の取組

（資料）内閣府「小さな拠点」づくり事例集

### 〈中山間地域における「道の駅」を拠点とした自動運転サービス〉

国土交通省では、高齢化が進行する中山間地域における生活の足の確保等のため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの実証実験を平成29年度より全国18箇所で開催しており、この度、技術面やビジネスモデル等に関する実験結果を踏まえ、令和3年10月より島根県飯南町において、中国地方で初めて本格導入。



▲道の駅「赤来高原」を拠点とした自動運転サービスの社会実装（資料）国土交通省

# 基本戦略4 土砂災害・水害対策やインフラ長寿命化による強靱な圏域整備と安全・安心の推進

## 戦略の考え方

- 南海トラフ地震など大規模地震等においても、他圏域のバックアップも含めた圏域内のハード・ソフトによる災害対策の推進と体制の強化
- 社会資本の計画的・効率的なメンテナンス、技術力強化によるインフラ長寿命化対策の推進
- 日常における安全・安心な暮らしのための、住宅・社会資本の整備

## プロジェクト

### ■ 他圏域のバックアップも含めた災害対策の推進

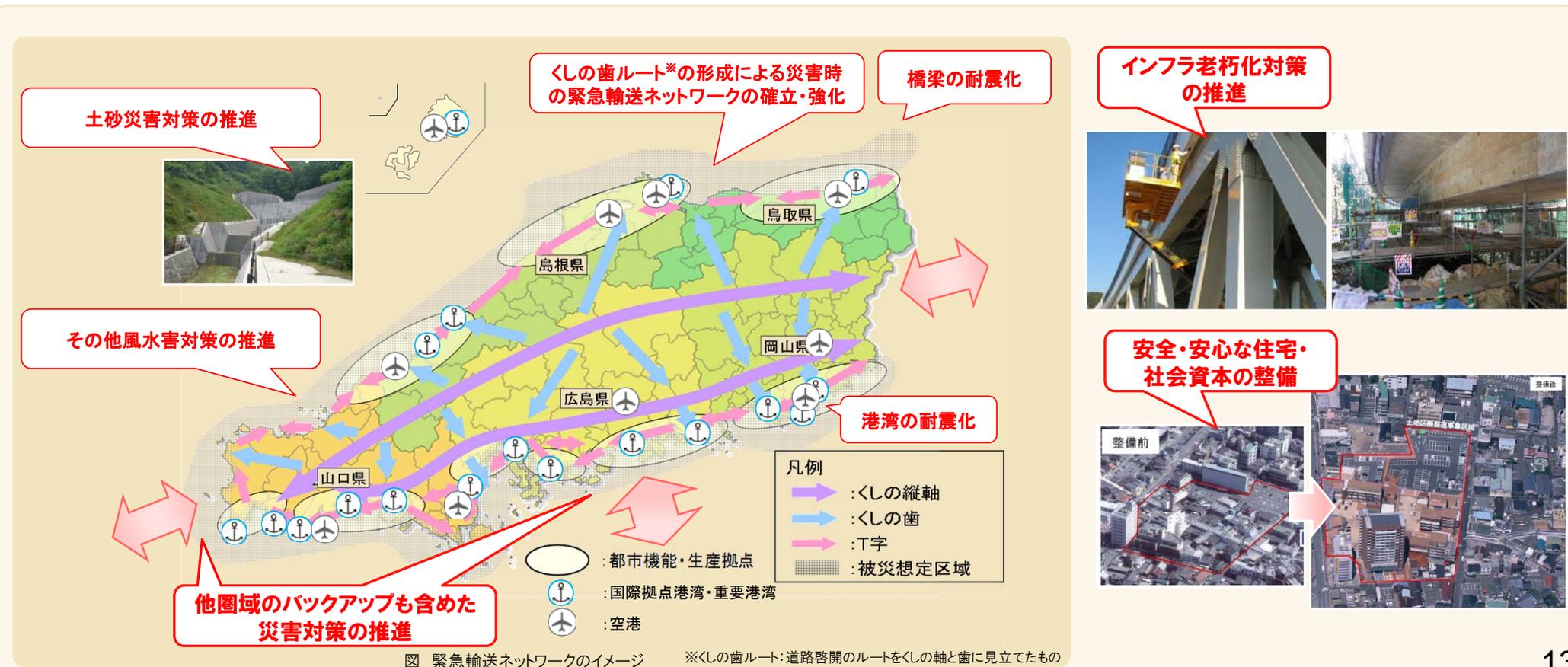
- ・ 広島土砂災害等の教訓を踏まえた、暮らしを守る砂防や地すべり対策等の推進
- ・ 耐震強化岸壁の整備及びコンビナート港湾の強靱化
- ・ 南海トラフ地震等の大規模な地震や津波が発生した際の応援・救援体制、緊急輸送ネットワークの確立・強化
- ・ 企業のBCP策定や平常時からの情報交換等によるサプライチェーンの強化
- ・ カウンターパート制などの連携体制を踏まえ、広域的な支援活動等について具体化を図る取組の推進 等

### ■ インフラ老朽化対策の推進

- ・ インフラの長寿命化及び社会資本の戦略的な維持管理
- ・ メンテナンスに関する技術力の向上と人材の確保・育成 等

### ■ 安全で安心な住宅・社会資本の整備

- ・ 住宅等の耐震・耐火性能の向上による災害に強い安全なまちづくりの推進
- ・ 住宅市街地の再生・整備による安全な市街地の形成
- ・ 交差点改良、歩行者及び自転車通行空間の整備等の交通安全対策の推進 等



## 他圏域のバックアップも含めた災害対策の推進

大規模災害時の他圏域のバックアップも含めたハードとソフトの組み合わせによる対策を行い、自助・共助による地域防災力の向上や災害時の緊急輸送ネットワークの確立・強化を推進。

### 〈広島西部山系・安芸南部山系直轄砂防事業〉

国土交通省広島西部山系砂防事務所では、平成11年6月29日の土砂災害を契機として、土石流による人的被害、家屋被害、重要な交通網の途絶などの被害を軽減することを目的として、平成13年度から砂防事業を実施中。令和2年7月豪雨では、大雨により土石流が発生したが、井口台4号砂防堰堤で土砂及び流木を捕捉し、下流地区への被害を未然に防止した。



▲砂防ダム事業箇所



令和2年7月豪雨では土石流による被害防止。砂防堰堤の整備により土石流被害から下流の人家等を守り、その被害防止の効果は約10億円(推定)

▲井口台4号砂防堰堤

(資料)国土交通省HP

### 〈防災道の駅の指定〉

国土交通省では、「道の駅」第3ステージの取組の一環として、都道府県の地域防災計画等で、広域的な防災拠点に位置づけられている「道の駅」について「防災道の駅」として選定し、防災拠点としての役割を果たすための、ハード・ソフト両面からの重点的な支援を行うこととしている。この度、都道府県からの提案を踏まえ、重点支援対象となる「防災道の駅」として全国で39駅（そのうち中国地方では3駅：みやま公園、西条のん太の酒蔵、ソレーネ周南）が初めて選定。



▲防災道の駅制度の概要



(資料)国土交通省HP

### 〈真備緊急治水対策プロジェクト〉

高梁川水系小田川では、平成30年7月豪雨により堤防の決壊や越水等が発生し、甚大な被害を受けた。このため、国土交通省・岡山県・倉敷市では、再度災害防止を図ることを目的に、真備緊急治水対策プロジェクトを推進中。



▲真備緊急治水対策プロジェクト

(資料)国土交通省HP

### 〈洪水予報・水位情報周知〉

中国地方整備局では、管内直轄13水系において、適切な避難行動を促すことを目的とした洪水時に特化した水位計「危機管理型水位計」を448基整備し、きめ細かい水位情報のリアルタイム配信を開始した。また、令和元年9月に「水害リスクライン」の運用(情報提供)を開始。



(資料)中国地方整備局HP

## インフラ老朽化対策の推進

高度経済成長期に整備された社会基盤の長寿命化を目指し、インフラの老朽化対策を図るために、道路、河川等の既存の社会インフラの戦略的な維持管理を推進。

### 〈しゅうニャン橋守隊の取組〉

産官学民の幅広いメンバーで構成される周南市の任意団体「しゅうニャン橋守隊」が、道路施設の重要性や現状を広報しながら、日常生活の延長上で実施できるメンテナンスを体験型ボランティア活動として住民に提供する取組を実施中。

### 取組のポイント

地元で活躍する産学官民のメンバーで清掃や簡単な橋梁点検等を行い、地元住民や次世代を担う学生、子ども達にインフラメンテナンスに対する理解促進や意識付けを行っている。



### 橋守活動の事例



(資料)国土交通省HP

▲しゅうニャン橋守隊の取組概要

### 〈DXによるインフラメンテナンスの推進〉

広島県では、施設の長寿命化に資する技術の募集・登録を行う「広島県長寿命化技術活用制度」を創設し、登録技術を有効活用することで、公共土木施設の維持管理にかかるコスト縮減を図るなどインフラ長寿命化技術活用促進事業を推進中。

中国道路メンテナンスセンター(国土交通省)では、インフラDXによる自治体支援を実施している。急速に高齢化する橋梁など社会資本の長寿命化に向け「橋梁点検・診断に関する研修・講習会」を行い、国や地方公共団体職員のメンテナンス技術力向上を推進中。



▲VR技術を活用した橋梁点検・診断講習ツール

▲インフラ長寿命化技術フェア広島2019における「広島県長寿命化技術活用制度」登録技術の効果の周知

(資料)広島県

(資料)国土交通省

## 安全で安心な住宅・社会資本の整備

安全で安心な地域社会、高齢者・障がい者等全ての人が安心して暮らせる共生社会の実現のため、交差点改良等の交通事故防止対策や共同・協調建て替えによる住環境の改善や道路・建築物等のバリアフリー化など、事故や災害を未然に防止する環境整備を推進。

### 〈通学路の緊急合同点検に基づく街路整備〉

通学路の緊急合同点検結果に基づく対策(街路事業による歩行空間の確保: 拡幅、バイパス整備等)を実施。



▲通学路の緊急合同点検

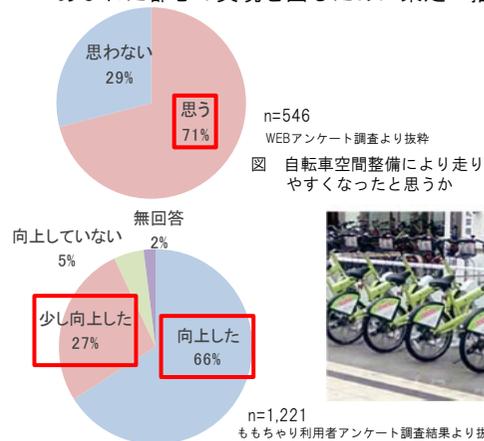


▲平成30年度に共用した城山北公園線(島根県松江市)

(資料)中国地方整備局HP・島根県HP

### 〈自転車先進都市おかやま実行戦略の取組〉

岡山市の「自転車先進都市おかやま実行戦略」は、自転車の利用環境等を「走る・停める・使う・楽しむ・学ぶ」の5つの施策分野に区分し、公共交通、自転車主体の交通システムの実現と、当該交通システムを骨格としたコンパクトな市街地構造の実現、より多くの人が、より多くの場所を巡り、より長く滞在したくなる、安全で、回遊性が高く、魅力と賑わいにあふれた都心の実現を図るために策定・推進中。



▲自転車先進都市おかやま実行戦略の中間評価

(資料)岡山市HP

# 基本戦略5 環境と産業・生活が調和した地域づくり

## 戦略の考え方

- 中国圏の地域資源や自然資源を活かした低炭素・循環型の地域づくりの推進
- 瀬戸内海、日本海、中国山地等の変化に富んだ豊かな自然環境の保全・再生
- 地域の新たな価値を創造する多様で個性ある景観の保全・整備

## プロジェクト

### ■低炭素・循環型の地域づくり

- ・地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入を促進
- ・日本海沖メタンハイドレート資源の実用化に向けた技術開発等の取組を推進
- ・木質バイオマスの有効活用や水素インフラ整備等の取組を推進 等

### ■美しい景観の保全整備

- ・歴史的なまちなみ景観や自然景観など、中国圏の特色ある優れた景観の保全を推進
- ・景観行政団体における景観計画策定の推進や景観形成ガイドラインの策定・活用などにより良好な景観形成を推進 等

### ■瀬戸内海等の豊かな自然環境の保全・再生

- ・瀬戸内海における藻場・干潟の保全・再生等、生物多様性の保全を推進
- ・瀬戸内海を「里海」として再生していくための連携体制を形成
- ・多様な主体の連携による里山の保全を推進
- ・世界ジオパークにおける自然遺産の保護、研究、地域振興
- ・多様な主体との協働による広域的な環境美化・清掃活動を推進
- ・瀬戸内海における海洋環境整備船による浮遊ごみの回収作業など、海洋環境の保全
- ・ラムサール条約湿地における賢明な利用を推進 等



# 基本戦略5 環境と産業・生活が調和した地域づくり

## 低炭素・循環型の地域づくり

温室効果ガス削減の一層の推進を目指し、再生可能エネルギー等の導入促進や環境負荷低減のための取組を推進。

### <循環型産業クラスター形成促進事業：岡山県>

岡山県内環境産業の振興と循環型社会の形成促進を図るため、「中四国環境ビジネスネット」を設置し、広域的なビジネスマッチングの推進に取り組むとともに、産業廃棄物を活用するなど、先進的なりサイクル関係施設の整備や新技術・新商品の研究開発、事業化等を支援中。



岡山県産業振興財団に設置した環境産業支援コーディネーター、環境産業推進員が県内企業を訪問し、ニーズ・シーズ情報を収集するほか、ホームページを活用した広域での企業情報の収集、中国地域産学官連携コンソーシアム（さんさんコンソ）と連携した大学発のシーズ情報の収集を行い、県内企業ニーズとのマッチングを推進中。

▲B-netホームページ((公財)岡山県産業振興財団)

(資料)岡山県

### <マイカー乗るまあデー推進事業：広島市>

ノーマイカーデーひろしま実行委員会では、2005年度からノーマイカーデー運動に取り組んでいる。2006年度には毎月22日を「マイカー乗るまあデー」とし、2008年に毎月2,12,22日に拡大して呼びかけを継続中。



▲ノーマイカーデーひろしま2020実施結果

(資料)広島市HP

### <グリーンスローモビリティの導入：広島県尾道市>

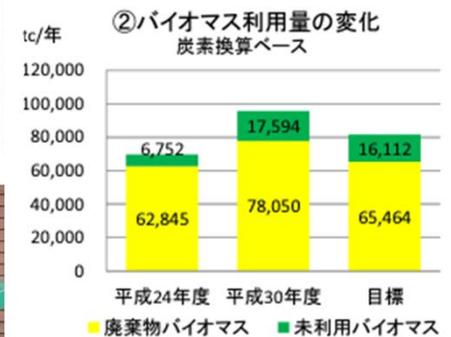
尾道市ではJR西日本などの共同事業者とともに、尾道市の市街地エリアにおいて、グリーンスローモビリティの運行を開始。車両の位置情報や乗車人数をリアルタイムに確認できる動態管理システムを導入して、利用者の利便性向上や運行业務負荷の軽減を図っている。



(資料)尾道市HP

### <バイオマス産業都市の取組：岡山県真庭市>

岡山県真庭市では地域資源である森林を活用し、持続可能な資源循環型の産業と暮らしを実現していくため、4つの具体プロジェクト(①バイオマス発電事業、②木質バイオマスリファイナリー事業、③有機廃棄物資源化事業、④産業観光拡大事業)を展開し、バイオマスの利活用を推進し、新たな産業化を推進している。



▲バイオマス利用量の変化

▲真庭バイオマス産業都市構想・真庭市バイオマス活用推進計画の中間評価

(資料)岡山県真庭市HP

## 美しい景観の保全整備

地域の魅力向上による地域間の対流促進を目指し、中国圏の特色ある優れた景観の保全・整備や良好な景観の形成を推進。

### <萩ジオパークの取組:山口県>

ジオパークでは、地球科学的に価値の高い地質・地形のある自然遺産を保護・保全し、教育や防災活動、ジオツーリズム（地球や大地の物語を楽しむ旅）などに活用し、地域の持続可能な発展を目指す活動を行っている。平成30年に日本ジオパークに認定された「萩ジオパーク」では、萩ジオパーク推進協議会を設置し、エリアにおけるサイトや景観を保護、教育、持続可能な開発が一体となった概念により行うジオパーク活動を推進中。



▲萩ジオパーク推進協議会の参加型イベント  
(資料)萩ジオパーク推進協議会

### <伝統的建造物群保存地区の取組:鳥取県若桜町>

伝統的建造物群保存地区制度によって、全国各地に残る歴史的な集落・町並みの保存が図られている。令和3年には鳥取県若桜町若桜地区が国重要伝統的建造物群保存地区に選定され、保存・活用の取組が推進されている。



若桜町若桜は鳥取県南東部の山岳地帯に位置し、若桜鬼ヶ城の城下町を起源とし、旧若桜街道沿いの宿場として、また近隣からの物資の集積地として栄えた商家町である。明治18年の大火後に作成された復興計画に基づいて建てられた伝統的な町家や敷地背面の土蔵、自然地形を生かした用水等、大火を経て復興した山あいの商家町の歴史的な風致を形成する伝統的建造物群保存地区。

▲若桜町若桜伝統的建造物群保存地区  
(資料)鳥取県若桜町HP

## 瀬戸内海等の豊かな自然環境の保全・再生

中国圏の有する豊かな自然環境の持続可能な保全・再生を目指し、生物多様性の保全・再生や環境美化を推進

### <鉄鋼スラグを活用した藻場の再生実証事業>

宇部工業高等専門学校と岩国市の神代漁協と連携して、藻場の減少によって漁獲量が減少している当地において、天然石の代替材料として、鉄鋼スラグを使用した事業に、平成25年1月より取り組んでいる。アマモ場と既存魚礁との間に、天然石の代替材料として鉄鋼製造工程で副産物として生じる鉄鋼スラグを利用する事業を実証中。



(資料)宇部工業高等専門学校HP

### <干潟を再生する取組>

干潟は多様な生物を育む場でもあり、カニや貝は水質浄化の一翼を担う存在となっている。かつて遠浅の干潟が広がっていた広島湾では、都市化に伴い干潟や藻場の減少し、生物の生息場所の消失、自然の浄化機能の低下が起きている。海に手をを入れて良好な環境を保つ「里海」の取り組みを通じて干潟再生を図っている。



市民ら会員による食害防止ネット敷設  
漁業関係者とアサリ稚貝の採集

▲広島港の干潟再生に向けた取組  
(資料)中国地方整備局

### <三大河川流域啓発リレー>

三大河川（旭川、吉井川、高梁川）の流域市町村と連携し、海ごみ発生抑制意識のたすきをつなげる、「三大河川流域啓発リレー」を実施。三大河川ごとに、上流、中流、下流それぞれ1市町村で、海や河川等の清掃活動と合わせ、海と河川のつながり、保全することの大切さについて、各地域の特性を踏まえた学習等を行い、最後に保全宣言を行っている。令和2年度は7市町村で、延べ181人が参加。



▲三大河川流域啓発リレーによる取組

# 基本戦略6 将来の発展を担う人材育成

## 戦略の考え方

■地元大学等と産業における協力を一層強化し、ものづくり産業の人材やグローバル人材の育成・確保、地域づくり活動への参加主体の拡大等、地域の経済活動や活性化を支える人材の育成・確保

■若年層の就業促進、高齢者の就業機会の確保、子育て支援体制づくり、農山漁村での体験学習等、地域で活躍する多様な人材の育成・確保

## プロジェクト

### ■中国圏の人材育成

- ・地域の経済活動を支えるものづくり分野を中心とする人材育成・確保を支援
- ・次世代産業分野における研究開発や新たな産業のイノベーションを担う人材等の育成
- ・中小企業等が海外事業展開をする際に必要となるグローバル人材等の育成
- ・地域住民、NPO等地域の活性化を支える人材育成の推進
- ・中国地方地域おこし協力隊研修会の開催
- ・地域住民、NPO、企業等の多様な主体の連携による社会基盤管理の推進
- ・災害時における応急復旧活動など地域を支える建設業の担い手の育成 等

### ■若者・女性活躍社会、高齢者参画社会、障がい者参加社会の実現

- ・地域に対する愛着とグローバルな視野を持ち、地域で活躍する人材の養成
- ・若年層の就業促進を図るための就業支援ワンストップサービスの提供等の推進
- ・関係者が連携した子育て支援体制づくりの推進
- ・農山漁村における体験学習を通じた力強い子どもの成長を支える教育活動の推進
- ・女性が安心して活躍できる社会に向けた環境整備
- ・高齢者の就業ニーズに対応した職業訓練等社会参加を促進する環境づくりの推進
- ・障がい者の就労・社会参加促進を図るための就業支援、意識啓発等の推進 等

### 地域の経済活動を支える人材育成



ものづくり分野の人材育成・確保

イノベーションを担う人材の育成・確保

グローバル人材の育成・確保

### 地域の活性化を支える人材育成



地域を支える建設業の担い手育成・確保

多様な主体による社会基盤管理の推進

地域づくり活動への参加主体の拡大

### 若者・女性活躍社会、高齢者参画社会、障がい者参加社会の実現

女性の就業促進

子育て支援体制づくりの推進

若年層の就業促進

高齢者の就業機会の確保

障がい者の就労・社会参加の促進

農山漁村での教育活動の推進

地域で活躍する人材の確保



# 基本戦略6 将来の発展を担う人材育成

## 中国圏の人材育成

地域の発展を支える担い手確保により、圏域の持続的な成長・発展を図るため、ものづくり産業や地域づくり活動、社会資本の維持管理などに携わる人材の育成を推進。また、中山間地域における地域づくり等、四国圏とも共通する課題に対応する取組の担い手の育成について、両圏域で連携して推進。

### 〈イノベーション人材等育成事業・プロフェッショナル人材マッチング支援事業：広島県〉

#### ①イノベーション人材等育成事業

広島県内中小・中堅企業が、社員を研修等へ派遣する費用や、個人が専門職大学院等での修学に要する費用の一部を支援。

#### イノベーション人材等育成事業補助金〈企業向け補助制度〉

県内に本社・本店を置く中小・中堅企業を対象に、社員を国内外の大学や企業、研修機関などへ派遣して、「新たな価値を生み出す知識・技術を取得する」取り組みに対して必要な費用の一部を補助します。

#### 広島県未来チャレンジ資金〈個人向け貸付制度〉

個人の方を対象に、大学院等専門課程で高度な知識を身につけ、「広島県内企業等で働きたい!!」「広島県産業の発展に貢献したい!!」という方に修学に必要な資金を無利子でお貸しします。

#### ②プロフェッショナル人材マッチング支援事業

首都圏に集中している経験豊富な事業企画・運営などのプロフェッショナル人材を県内企業に確保するため、登録人材紹介会社と連携してマッチングの支援を行うセンターを設置・運営するとともに県内企業が人材の受け入れに要する費用の一部を支援。

「プロ人材登用ってどんな効果があるの?」

具体的な事例を紹介しています



①「プロフェッショナル人材活躍事例」を見る

「どんな支援制度・補助金があるの?」

各種支援制度や補助金などを紹介しています



②「各種支援・補助金情報」を見る

▲広島県による人材育成の取組

(資料)広島県

## 若者・女性活躍社会、高齢者参画社会、障がい者参加社会の実現

地域の雇用力確保を目指し、若年層の地元就職等による定着や女性が社会で活躍できる子育て環境の整備、高齢者や障がい者が活躍・自己実現に努められる支援制度の充実などを推進。

### 〈WISやまぐちによる取組〉

WISやまぐちは、山口県、山口銀行、県内企業が共同出資により設立した女性創業支援、女性経営者向けコンサルティング・教育を目的とした会社。女性起業家伴走型支援事業経営コンサルティング事業、各種研修事業等、女性による新しい視点で、イノベーションを起こせるような人材やビジネスを発掘し、事業の成長・事業化支援と、女性起業家、経営者の育成を実施中。



(資料) WISやまぐちHP

#### WIS認定事業者マーク



(資料)山口県

### 〈令和新時代創造県民運動推進事業：鳥取県〉

鳥取県では、令和新時代を担う若者が主体の活動を広げていくとともに、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用して、多くの人の共感を得ながら取り組む活動を支援するなどして、令和新時代の新しい活力を創造し、地域の活性化を一層進めている。



▲新時代創造県民運動WEBサイト

#### 《主な取組》

- ・推進補助金を令和3年度は33/44件採択(令和3年10月28日時点)
- ・運動推進のため、とっとり元気フェス、とっとりSDGsアワード、ととりの魅力発信PR動画コンテスト、地域づくり団体交流会や、新聞タイムアップ記事、新聞広告等を実施

(資料)鳥取県

### 〈しまね子育て応援企業「こころカンパニー」認定制度・しまね女性の活躍応援企業登録制度〉

従業員の子育てを積極的に支援する企業を「しまね子育て応援企業(こころカンパニー)」として認定することや、女性活躍の推進に向けて積極的に取り組む企業を「しまね女性の活躍応援企業」として登録し、補助金制度によって支援することで女性活躍推進及び仕事と生活の両立に向けた取組を促進中。

- こころカンパニー認定企業数  
H28年度 265社→R2年度 368社
- 女性の活躍応援企業登録数  
H28年度 43社→R2年度 288社



(資料)鳥根県